

県下一周駅伝

大村・東彼3年ぶり

2位西彼 長崎は連覇逃す



3年ぶり総合優勝した大村・東彼のアンカー、吉川佳恵(諫早高)のゴール。長崎市茂里町、長崎新聞社前

総合順位

- ①大村・東彼 21時間15分04秒
- ②西 彼 21時間40分42秒
- ③長 崎 21時間41分48秒
- ④北松・松浦 21時間48分15秒
- ⑤佐 世 保 22時間06分17秒
- ⑥五 島 22時間14分39秒
- ⑦南高・島原 22時間28分13秒
- ⑧吉 岐 22時間28分23秒
- ⑨対 馬 22時間32分22秒
- ⑩諫早・北高 23時間10分30秒
- ⑪平 戸 23時間11分14秒

女子総合は対馬が2年連続

第54回郡市対抗県下一周駅伝大会(主催・長崎新聞社、長崎陸上競技協会)は18日から20日までの3日間、長崎市茂里町の長崎新聞社前をスタート・ゴールとする計40区間、403・2キロで行われ、最終日の20日は、第1日、第2日と首位を続けた大村・東彼が前日まで2位の長崎や3位西彼を振り切って3年ぶりの総合優勝を果たした。

大村・東彼は初日、2位長崎に6分58秒差をつけて首位に立ち、第2日も長崎との差を20分7秒にまで広げた。最終日の20日は南高小浜町から島原半島を左回りに一周、諫早市や東長崎を経由して長崎市に戻るコース。この日も大村・東彼は好調で、2位との差をさらに広げて日間首位を一度も譲らず、最後はアンカーの吉川佳恵(諫早高)が3日間の累計タイム21時間15分4秒で大会新IIでフィニッシュした。2位西彼との差は25分38秒だった。

女子総合は対馬が54分5秒で2年連続優勝だった。